



# 令和2年度 果樹情報 第13号

(令和2年10月5日)

福島県農林水産部農業振興課



## 1 気象概況 (果樹研究所)

9月の平均気温は22.1℃で平年より1.2℃高く経過しました。降水量は146.5mmで平年比93%、日照時間は111.7時間で平年比77%でした。

## 2 土壌の水分状況 (果樹研究所)

10月1日時点の土壌水分 (pF値：果樹研究所なしほ場：草生・無かん水) は、深さ20cmで1.9、深さ40cmで1.8、深さ60cmで1.8となっており、適湿状態となっています (図1)。

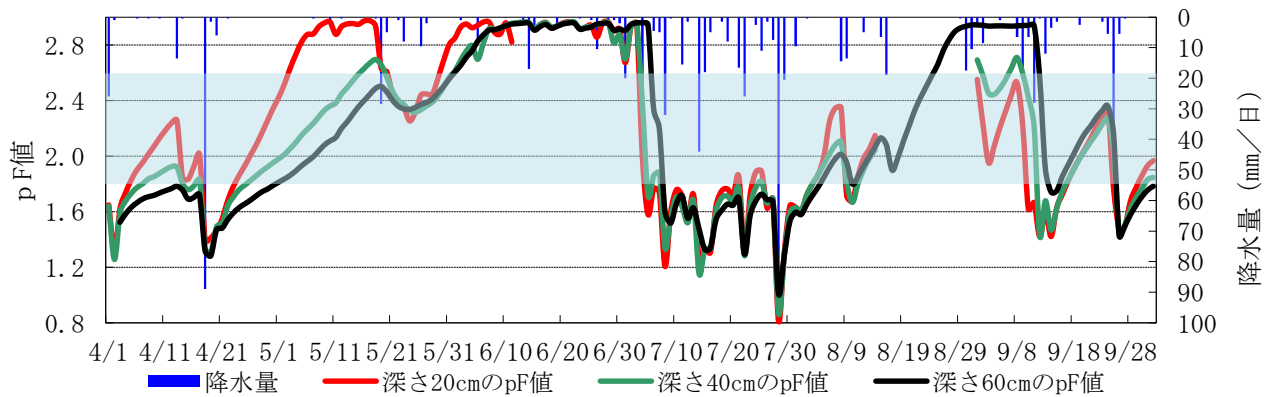


図1 土壌 pF 値の推移 (果樹研究所なしほ場：草生・無かん水)  
図中の網掛け部は、適湿の範囲 (pF1.8-2.6) を示します。

## 3 生育概況 (10月1日現在、果樹研究所)

(1) なし

ア 主要品種の収穫期と果実品質

「豊水」の収穫盛期は9月13日で平年より6日早くなりました。収穫時の平均果重は432g、糖度は12.6でともに平年並でした。

「二十世紀」の収穫盛期は9月15日で平年より7日早くなりました。収穫時の平均果重は388g、糖度は10.8でともに平年並でした。

表1 なし主要品種の収穫期と果実品質

品種	収穫開始日 (月/日)			収穫盛期 (月/日)			収穫終期 (月/日)			果実重 (g)			糖度 (° Brix)		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
幸水	8/21	8/25	8/21	8/25	8/31	8/23	8/27	9/6	8/26	413	380	403	12.1	12.6	11.3
豊水	9/7	9/13	9/4	9/13	9/19	9/8	9/17	9/25	9/18	432	429	510	12.6	12.8	12.5
二十世紀	9/15	9/18	9/11	9/15	9/22	9/13	9/15	9/27	9/18	388	401	441	10.8	11.2	10.2
ラ・フランス	10/1	10/6	9/27	10/1	10/7	9/27	10/1	10/9	9/27	未	294	322	12.1	12.9	12.4

注) 平年値は、1986～2015年 (ラ・フランスは1987～2015年の平均値。未は未確定)。

イ 「ラ・フランス」の成熟経過

「ラ・フランス」の満開後160日 (9月24日) における成熟調査では、果肉硬度は11.2ポンドで平年並となり、地色指数は3.4、デンプン指数は4.7でともに平年より高く経過しています。

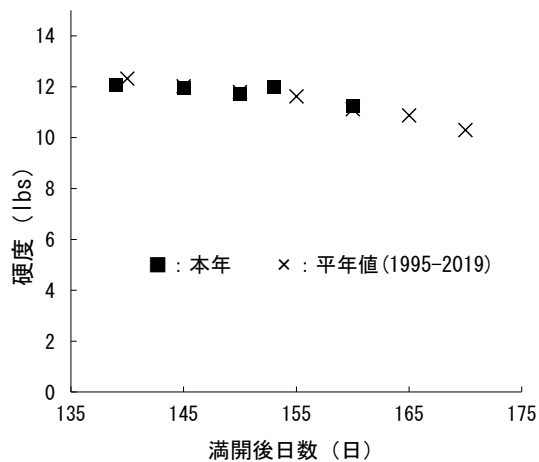


図2 「ラ・フランス」の果実硬度の推移

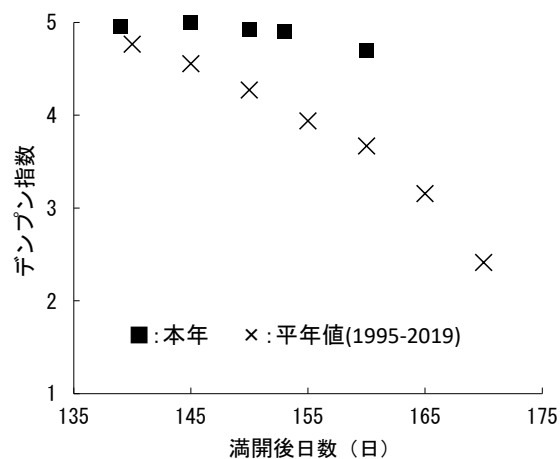


図3 「ラ・フランス」のデンプン指数の推移

(2) りんご

ア 果実肥大

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が76.0mmで平年比95%、横径が84.8mmで平年比97%と平年よりやや小さくなっています。満開後日数の体積指数で比較すると、平年比89%で平年より小さい状況です。

イ 「ふじ」の成熟状況

「ふじ」の満開後151日(9月30日)における成熟調査では、硬度は13.0ポンドで平年より低く、デンプン指数は3.6で平年より高くなりました。果皮に含まれるクロロフィル含量、アントシアニン含量はともに平年より低く推移しています。

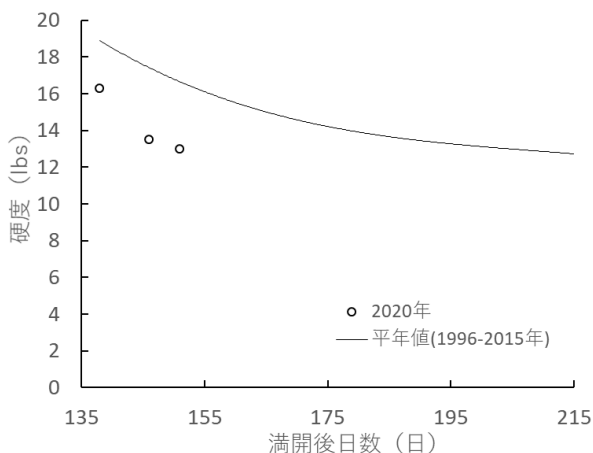


図4 「ふじ」の果肉硬度の推移

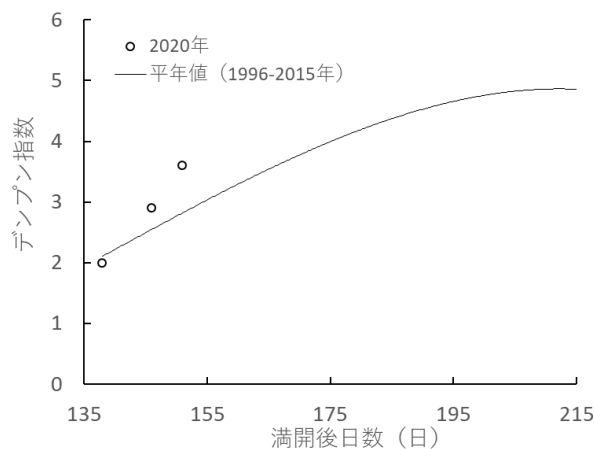


図5 「ふじ」のデンプン指数の推移

(3) ぶどう

ア 「シャインマスカット」の成熟状況

「シャインマスカット」の満開後112日(10月1日)における成熟調査では、糖度が16.2(° Brix)、酒石酸が0.30(g/100ml)、糖酸比が54.7でした。

表2 「シャインマスカット」の成熟状況

品種	調査日	満開後日数	果房重(g)	1粒重(g)	糖度(° Brix)	酒石酸(g/100ml)	糖酸比
シャインマスカット	9/ 1	82	451.8	11.0	14.6	0.51	28.6
	9/15	96	467.9	12.4	15.4	0.32	47.6
	10/1	112	467.9	11.3	16.2	0.30	54.7
(参考)							
R1収穫始	9/24	109	439.8	12.7	16.1	0.29	55.1

## 4 栽培上の留意点

### (1) なし

#### ア 「ラ・フランス」の収穫

果樹研究所における「ラ・フランス」のデンプン指数の低下は平年より遅くなっていますが、収穫が遅れると内部褐変や果肉の粉質化が起こりやすくなるため、表3を参考に収穫が遅れないように注意しましょう。

表3 「ラ・フランス」収穫適期の新たな基準  
(平成28年度農業総合センター普及成果情報)

	生育日数 (日)	地色 指数	硬度 (lbs.)	デンプン 指数
新たな基準	160~165	3.0	11	3.0~3.5

### (2) りんご

#### ア 「ふじ」の収穫前管理

1回目の葉摘みは、果実に接している葉を中心に数枚程度実施し、併せて玉回しを行いましょう。反射シートは遅れないように敷設し、枝の下垂が目立つ骨格枝等には枝吊りや支柱立てを行いましょう。

10月中旬以降の2回目の葉摘みは、個々の果実に光が当たるように丁寧に実施しましょう。

#### イ 中生種の収穫

地色、着色、デンプンの抜け、果実の肉質、食味等から総合的に判断し、品種特性に応じて適期収穫に努めましょう。

### (3) ぶどう

#### ア 冬肥

県施肥基準に従い、冬肥の施用は落葉期の11~12月に行いましょう。ただし、秋肥(9月)を施用していない場合は、早急に実施しましょう。「巨峰」成木における年間の施肥の目安(10a当たり成分量)は、窒素が6kg、リン酸が8kg、加里が8kgであり、窒素は秋肥、冬肥、春肥でそれぞれ2kgずつ施用します。樹勢が強い場合は窒素の施用量を減らしましょう。

なお、堆肥等は冬肥時に併せて施用し、その成分量を考慮して冬肥施用量を調整しましょう。

#### イ 間伐・縮伐

樹冠が拡大し、枝が混み合ってきた場合には、早めの間伐や縮伐を実施しましょう。間伐や縮伐は収穫終了直後に行うと良く、この時期はまだ葉があるため、枝の混み具合がわかり、残った枝に良く光が当たるようになり、養分蓄積にも有効です。

気象庁[営農活動に役立つ気象情報] <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/nougyou.html>

## 5 病虫害防除上の留意点

### (1) 病害

#### ア モモせん孔細菌病

9月上旬における中通り北部の新梢葉での発生ほ場割合は、平年より高い状況でした。今後の台風等の影響により、新梢への感染拡大が懸念される状況にあるため、秋期防除を確実に実施して越冬菌密度の低下を図りましょう(令和2年9月2日付け病虫害発生予察情報・注意報第7号)。

防除薬剤は表4のいずれかの薬剤を選択し、9月上旬~10月中旬に2週間間隔で3回散布しましょう。ただし、コサイド3000は高温時に使用すると落葉等の薬害を生じることがあるので注意しましょう。

イ なし黒星病

9月上旬における新梢葉での発生ほ場割合は、県内全域で平年より高い状況にあるため、注意が必要です（令和2年9月15日付け病害虫発生予察情報・注意報第8号）。

本病の発生が多かった園では越冬菌密度の低下を図る必要があるため、「豊水」収穫後に2回目の秋期防除を行いましょ。防除薬剤は表4のいずれかの薬剤を使用し、枝の先端まで薬液が十分量到達するように散布しましょ。さらに、10月中旬から11月中旬にかけては翌年の芽基部病斑発生の原因となる病原菌の芽りん片生組織（図6）への感染が多くなる時期であるため（図7）、落葉率80%頃を最終散布の目安とし、10月中旬～11月上旬にオーソサイド水和剤80を600倍に希釈し、2週間間隔で3回程度散布しましょ。

なお、9月30日における果樹研究所内「幸水」生育調査樹のりん片生組織の露出芽率は12.6%であり、昨年の同時期（9月27日）と同程度（15.8%）のため、今後10月中旬頃から露出芽率が増加すると予測されます。

また、病原菌は罹病落葉で越冬し、翌年の重要な伝染源となるため、落葉処理も併せて実施しましょ。

表4 各作物の使用薬剤

作物名	対象病害虫名	薬剤名	希釈倍数
モモ、ネクタリン	せん孔細菌病	ICボルドー412	30倍
		4-12式ボルドー液（モモのみの登録）	—
		コサイド3000（クレフノン 100倍加用）	2,000倍
		ムッシュボルドーDF（クレフノン 100倍加用）	500倍
ナシ	黒星病	オーソサイド水和剤80	600倍
		バルコート水和剤	1,000倍

※農薬の使用に当たっては、農薬のラベルを必ず確認すること。



図6 露出した芽りん片生組織（芽内）

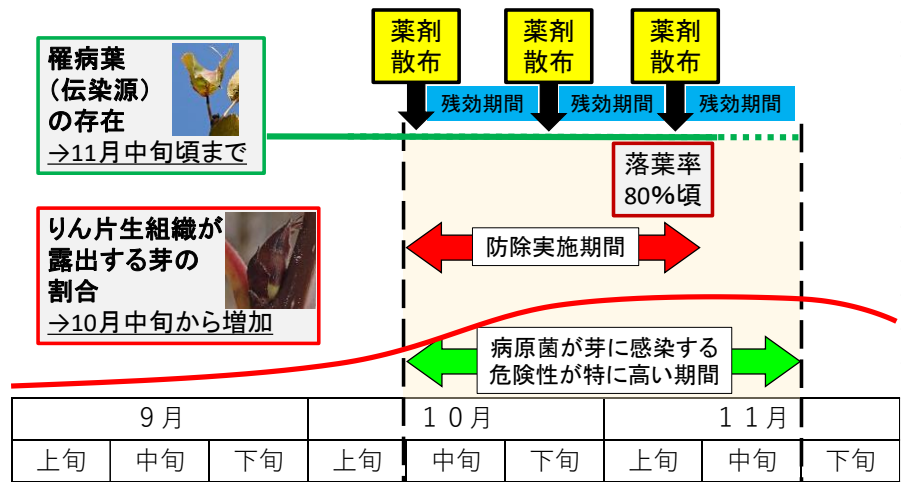


図7 なしの生育及び病原菌の生態に基づく10月中旬以降の秋期防除の考え方

**病害虫の発生予察情報・防除情報**

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょ。

発行: 福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7344  
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>